

在宅医療介護連携について

○多職種連携推進事業

1 経緯

在宅患者が、自分らしく安心して生活できるような在宅医療体制の構築を目指すため、北名古屋市、清須市及び豊山町は、西名古屋医師会に業務負託し、平成30年度より「在宅医療サポートセンター」として専門職員をおいて運営してきました。

その結果、電子@連絡帳(レインボーネット)をはじめ多職種連携の基盤がある程度整えられたこと、北名古屋市においては地域包括支援センターが4か所になり市民の在宅医療の相談ができる体制が整ったこと等により、令和4年度からは、在宅医療サポートセンターとしてではなく、多職種連携推進事業として、引き続き清須市、豊山町とともに尾張中部地域の在宅医療介護連携を進めていきます。

2 在宅医療サポートセンターの主な取り組みについて(令和3年度まで)

(ア)地域の医療・介護の資源の把握	<ul style="list-style-type: none"> ○医療機関便覧更新調査 一覧作成 ○訪問診療、訪問歯科診療、訪問薬剤管理指導の実施機関の調査、リスト化、レインボーネットへの掲載 ○ケアマネタイム調査、リスト化 ○訪問看護事業所の情報リスト化 ○在宅医療・介護資源マップの作成 ○地域連携室のリスト化 受診入退院窓口情報
(イ)在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	<ul style="list-style-type: none"> ○療養生活、入退院、急変時、看取りの4つの場面での課題を調査 ○常任委員会の開催 ○サポートセンター業務検討会 月1回
(ウ)切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進	<ul style="list-style-type: none"> ○尾張中部地域在宅医療・介護連携推進協議会、ワーキング部会の医師会との共同開催。 ○多職種連携ハンドブック作成に向けた取り組み支援 ○清須市、北名古屋市、豊山町の地域包括ケアシステムの関連会議への出席
(エ)医療・介護関係者の情報共有の支援	<ul style="list-style-type: none"> ○レインボーネットの活用促進 ○入院情報連携シートの作成 ○お薬手帳活用促進のためカバーの作成

(オ) 在宅医療・介護関係者に関する相談支援	○地域の医療、介護会計者、住民、地域包括支援センターからの相談対応
(カ) 医療・介護関係者の研修	○多職種研修会の実施 ○ケアマネカフェの実施
(キ) 地域住民への普及啓発	○サポートセンターだよりの発行 ○在宅医療・介護資源マップの作成
(ク) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	○尾北、小牧、岩倉、稲沢地域のサポートセンターや保健所職員との情報交換

3 多職種連携推進事業について（令和4年度）

(ア) 地域の医療・介護の資源の把握	○資源マップの更新 ○ケアマネタイム更新
(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出	○2市1町業務検討会の出席 ○市町が専門職向け調査をする場合に、相談・調整等の後方支援
(ウ) 切れ目ない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進	○各市町が開催する地域包括ケアシステム関連会議への出席 ○専門職の連携ハンドブック印刷
(カ) 医療・介護関係者の研修	○尾張中部地域多職種連携研修会を実施 ○尾張中部地域の専門職団体などの専門職団体が実施する研修の講師調整
その他	○広域での情報交換会への参加（小牧・岩倉・尾北・稲沢・西名古屋）
<p>(エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援、（オ）在宅医療・介護関係者に関する相談支援、（キ）地域住民への普及啓発は、各市町（行政や地域包括支援センター等）で実施。</p> <p>（ク）在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携は、都道府県主体の役割へ変更。</p>	